

洲本第九

Ludwig van Beethoven

Symphony Concert



ソプラノ
ハイディ・ストーバー



メゾ・ソプラノ
清水華澄



テノール
リカルド・デツラ・シュッカ



バリトン
グスターボ・カスティージョ

ベートーヴェン：

交響曲 第9番 二短調 op.125 [合唱付き]

指揮／佐渡裕

(兵庫県立芸術文化センター芸術監督・淡路島音楽大使)

管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団

(PACオーケストラ)

合唱／洲本第九合唱団

令和7年

12月10日(水)

18:15開場／19:00開演

会場／洲本市文化体育館 大ホール
「しおさい館」

主催：洲本市、洲本市教育委員会、洲本市文化体育館自主事業実行委員会

10月12日(日) 9:00より チケット販売開始

チ
ケ
ッ
ト
販
売

- ①洲本市文化体育館 窓口
- ②イープラス

https://eplus.jp/sumoto_buntai/

※車イス席をご利用の方はチケットご購入前に
洲本市文化体育館までお問い合わせください。



イープラス

[A席] 5,000円 (指定席)

[B席] 4,000円 (指定席)

[C席] 2,000円 (2階スタンド自由席)

※前売券が完売の場合は当日券の販売はありません。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合
があります。あらかじめご了承ください。
※C席については、見切れ席となる場合があります。また、通
常のアリーナ観覧用スタンド席のため、木製ベンチシート
で席の向きも固定となり、斜めからの観覧となります。
※主催者の都合により販売席数を追加する場合があります。

ベートーヴェン 交響曲 第9番 (合唱付き) 演奏会 洲本第九

文化体育館開館20周年と洲本市制施行20周年の記念事業として、洲本市で20年ぶりに開催する「洲本第九」。人々が力を合わせて壮大な楽曲に取り組むことで得られる豊かな感動と第9に込められた溢れる思いを未来につなぐ演奏会。指揮「佐渡裕」、管弦楽「兵庫芸術文化センター管弦楽団」によるすばらしい演奏と豪華ソリスト陣、そして、半年にわたって練習を重ねた200名を超える洲本第九合唱団が、「洲本」で歓喜の歌を高らかに奏でます。



©飯島隆

音楽監督・指揮 / 佐渡裕

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2025年6月までオーストリアを代表し110年以上の歴史を持つトーン・キュンストラ管弦楽団音楽監督を10年間務め、その後同楽団名誉指揮者に就任。オランジュ音楽祭「蝶々夫人」(演奏: スイス・ロマンド管弦楽団)、トリノ王立歌劇場「ピーター・グライムズ」、「カルメン」、「フィガロの結婚」など海外のオペラ公演の実績も多数ある。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者、サントリー1万人の第九総監督等を務める。

CDリリースは多数あり、最新盤はトーン・キュンストラ管弦楽団を指揮した22枚目のCD「マーラー: 交響曲第6番」を25年5月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生〜指揮者は時間を彫刻する〜」(PHP文庫/新書)など。出光音楽賞(1991年)、モンブラン国際文化賞(2003年)、渡邊暁雄音楽基金音楽賞(2003年)、岩谷時子賞(2014年)、文部科学大臣表彰(2024年)、外務大臣表彰(2025年)などの受賞歴がある。オフィシャルファンサイト: <http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



©Simon Pauly

ソプラノ / ハイディ・ストーバー

アメリカ出身。ニューイングランド音楽院卒業。2008年ベルリン・ドイツ・オペラ「魔笛」パミーナ役でデビュー。これまでにメトロポリタン歌劇場、サンフランシスコ歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ドレスデン州立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ロイヤルオペラハウス等に主要な役で出演。欧米のオーケストラ公演にソリストとして多数出演する他、カーネギーホールでのソロリサイタルも実施。2023年兵庫県立芸術文化センター「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィーラ役で初来日。世界を魅了する澄んだ声で国際的なキャリアを築いている。



©Mariko Tagashira

メゾ・ソプラノ / 清水華澄

国立音楽大学大学院首席修了。新国立劇場オペラ研修所を経て渡伊。新国立劇場、日生劇場、東京二期会等で「アイダ」アムネリス役、「ドン・カルロ」エボリ公女役、「ローエングリン」オルトルート役、「サロメ」ヘロディアス役等を演じ、卓越した演唱で高い人気を誇る。2015年PAC「復活」以来佐渡裕氏からの厚い信頼を得て数多共演。昨年のプロデュースオペラ「蝶々夫人」では初のズズキ役に臨み成功を収めた。コンサートでも国内外の著名指揮者から信頼される歌唱を披露している。国立音楽大学及び同大学院准教授。名古屋音楽大学客員准教授。二期会会員。



テノール / リッカルド・デッザ・シュッカ

イタリア出身。2017年アドリアーナ・マリポンテ国際声楽コンクール、アンジェロ・ロフォレス国際オペラコンクールに優勝。2018年ミラノ・スカラ座アカデミー「アリババと40人の盗賊」ナディール役でデビュー。フィレンツェ歌劇場、パルマ・ヴェルディ音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ルーマニア国立歌劇場、リエージュ王立歌劇場などに多くの出演歴を持つ。国内では2022年兵庫県立芸術文化センター「ラ・ボエーム」ロドルフォ役、2024年新国立劇場「椿姫」アルフレッド役で出演。



©Fernando David

バリトン / グスターボ・カステリーヨ

ベネズエラ出身。音楽プロジェクト「エル・システム」で学ぶ。2017年ミラノ・スカラ座「ハンゼルとグレーテル」ペーター役でデビュー。ベルン歌劇場、ボローニャ歌劇場、トリノ王立劇場など世界中の歌劇場に多数出演。国内では2022年兵庫県立芸術文化センター「ラ・ボエーム」マルチェロ役、2024年新国立劇場「椿姫」ジェルモン役出演。コンサートソリストとしてもボストン交響楽団、ロサンゼルス・フィル、MDR交響楽団など世界中の楽団と共演している。

兵庫芸術文化センター管弦楽団

2005年9月設立。阪神・淡路大震災からの復興のシンボルとしてオープンした兵庫県立芸術文化センターの専属楽団。芸術監督は佐渡裕。世界中でオーディションを行い、多国籍の若手奏者により編成されアカデミーの要素も持つ。同センターを拠点に多彩な活動を展開。2006年関西元気文化園賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ベンクラブ賞受賞。通称PAC(パック)オーケストラ。 <https://hpac-orc.jp>



©飯島隆

合唱指導

- ・ 鹿岡晃紀 (テノール歌手・合唱指揮者・サントリー1万人の第九指導者)
- ・ 鹿岡めぐみ (ソプラノ歌手・神戸市混声合唱団団員)
- ・ 淡路合唱指導者
／ 阪口千鶴・佐竹裕子・太田久美子・松林恵子・政処善美
- ・ ピアノ伴奏者
／ 岸本由佳・川上美奈子・岸本紗耶
- ・ 特別指導 / 矢澤定明

会場はあんない



洲本市文化体育館

〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋1丁目1番17号
TEL.0799-25-3321/FAX.0799-25-3325
休館日: 火曜日 (祝日の場合は開館、翌水曜日休館)

※当日は臨時駐車場(消防署隣)をご利用いただけます。
※施設駐車場・臨時駐車場は収容台数に限りがありますので、お乗り合わせ等ご協力ください。
※近隣の商業施設専用駐車場への駐車はご迷惑となりますのでご注意ください。

